

“女性活躍の時代” 8割の女性が抱える健康課題

罹患率の高い乳がん・子宮がん・大腸がんに特化した「YOU健診」で女性を守る

アンファー株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:叶屋宏一 以下「アンファー」)が、新規事業として2020年に設立した女性健診事業を行う「株式会社ファムメディコ」は、コロナ禍におけるがん検診の受診率低下改善や、女性が抱える様々な健康課題の見逃しを防ぐべく、女性健康課題に関する調査結果、並びに罹患率の高い女性疾患に特化した女性専用健康診断「YOU健診」の事業展開をご紹介します。

働く女性の医療課題に警鐘を鳴らす！リモートワークで見逃される女性の健康課題にいち早い対応を 株式会社ファムメディコ 取締役 CVO 佐々木彩華

今の時代は働く人口のおよそ46%が女性であり、性差に基づいた適切な検査の実施は必要不可欠です。それにもかかわらず、企業健康診断の項目では、乳がん・子宮がん検診はオプションとなっており、制度が整っているとはいえません。

働く女性はキャリア、家事、育児と常にマルチタスクを要求されるため、つい自分のことは後回しになりがちです。一方で、40代までに3人に1人は何等かの婦人科疾患を発症したり、乳がん・子宮頸がんといった女性特有のがんは40代で発症のピークを迎えたりと、女性特有の症状や疾患は働く世代を直撃するといえます。

自身の健康は、ライフプラン実現のための大切な資産であり、基盤です。一人一人が自分に必要な健診を知り、毎年の健診を定期的なライフイベントとして捉えてほしいと思います。そのためには、女性自身のヘルスリテラシー改善に加え、社会制度や社会環境の見直しも必要であると考えています。



働く女性の6割が働き続けたいと回答、そのうち8割は女性特有の症状や病気を抱えるという現実

ファムメディコが実施した調査によると、働く女性の6割が働き続けたいと思っていることがわかりました。しかし、そのうちの8割は女性特有の症状や病気を抱えているという結果がでています。

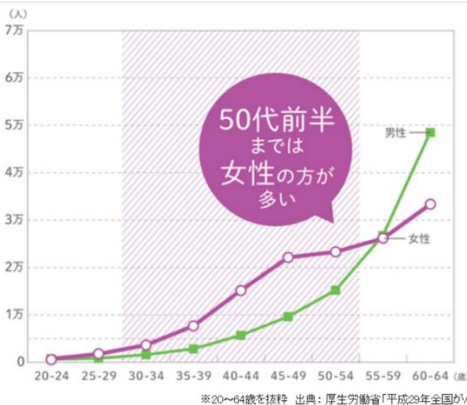
また、女性特有の症状があるにも関わらず、適切な対処ができていない人はごくわずかだと言ったことがわかりました。



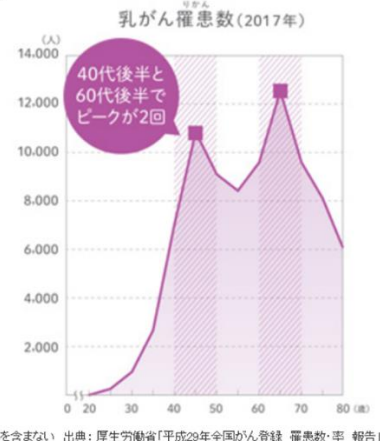
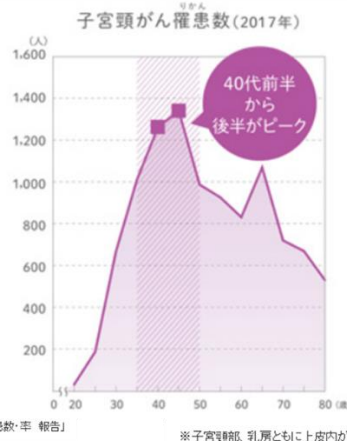
■女性はやがうちにがん発症の恐れが！一方でコロナ禍における「がん検診」受診率の低下

厚生労働省からの発表によると、男女の年代別がん罹患数は50代前半までは女性の方が多くという結果になっており、子宮頸がんに関しては40代前半から後半にかけてピークを迎え、乳がんに関しては40代と60代でピークが2回あります。このように女性のがんは比較的若いうちに発症することがわかっています。

■男女の年代別がん罹患数（2017）



■女性の年代別がん罹患数（2017）

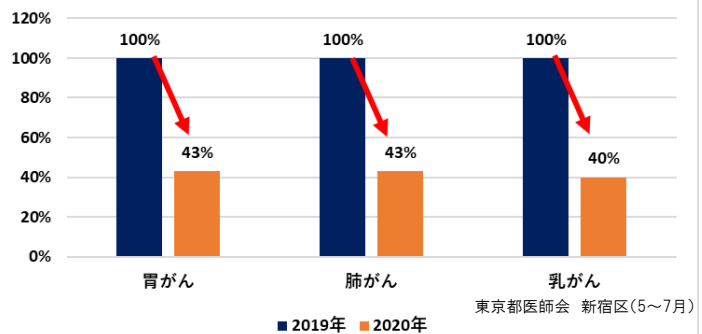


一方で、がんは「早期発見・治療」が重要とされていますが、「がん検診」の受診率は国が掲げている目標を下回っていることがわかっています。

さらに、コロナ禍において「以前より自分自身の健康状態を意識するようになった」と答えた人は56.5%でしたが、「コロナ禍でもがん検診を受診する」と回答した人は45.2%にとどまっています。実際にがん検診の受診率は約40%低下しており、少なくとも1万人以上のがんが未発見となると懸念されています。このように、コロナ禍で外

出自粛や企業の健康診断の後ろ倒しなどが続き、がん発見の遅れに拍車をかけていることがわかります。

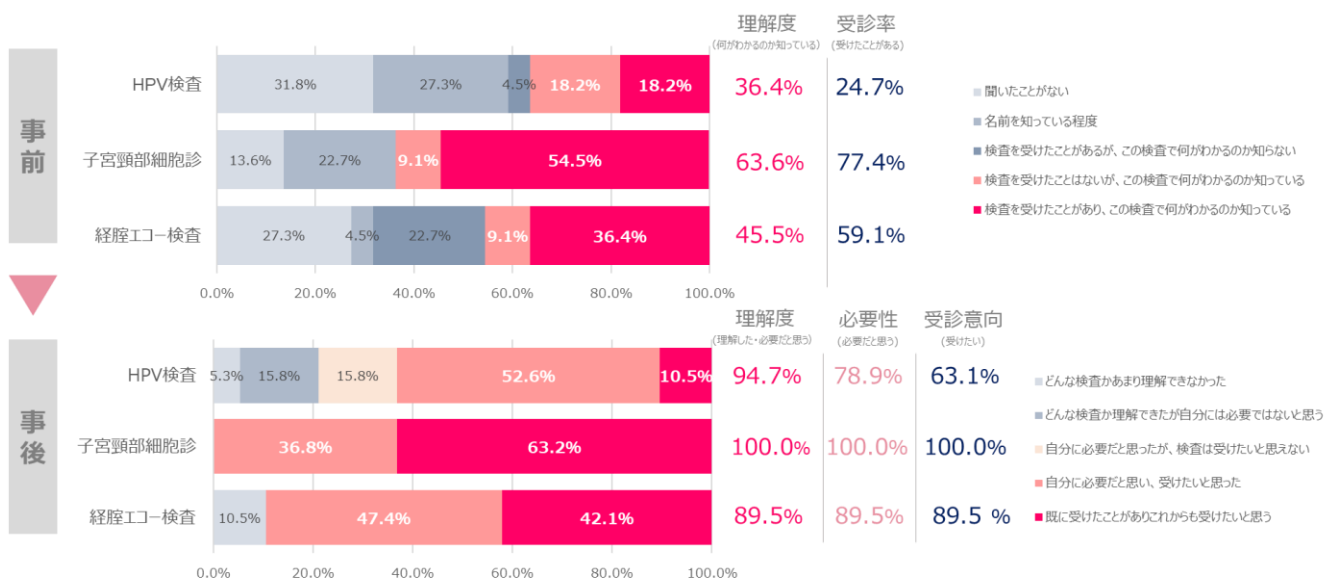
がん検診の受診率



■受診しない理由は「知らない」だけ！正しい情報を届けて受診率UP

ファムメディコが実施したセミナーにて、「子宮・卵巣の検査の理解度・受診率」について事前にアンケート調査をしたところ、各検査に関して、正しく理解していないまま受診している人が多く存在するとわかりました。また、理解度と受診率も比例しているように見受けられます。

さらに、セミナー実施後にアンケート調査を実施した結果、理解度が向上し、受診意向も大幅に改善されました。この結果から、受診率の低さの要因として「女性特有の疾患や検査内容の認知不足」が挙げられ、症状や疾患についての知識が増えたり、検査内容の理解を促進したりすることで、健診の受診率が上がるようになりました。



■“ファムメディコ”が働く女性の医療課題を解決し、健康をサポート

株式会社ファムメディコは、医師・NPO・大学・医療施設等を網羅した幅広い提携ネットワークを活かして、健康経営における女性の健康問題をサポートする医療コンサルティングを提供し、さらに様々な企業と協業した商品・プログラムの企画開発、レディースクリニックの開院支援などを通じて、全ての女性を多角的に支援します。

中でも、「女性の医療課題」を解決するため、コンサルティングしている「クレンジュ東京 レディースドッククリニック」にて「YOU健診」を提唱し、啓発活動を行っています。

ファムメディコはこのような課題を解決すべく、女性のヘルスリテラシー向上や企業の意識改革に取り組んで参ります。

■女性に必要な健診「YOU健診」



「YOU健診」とは、子宮・大腸・乳房を対象とした検査の総称です。それぞれの部位の形を、3つのアルファベットになぞらえています。女性の罹患率・死亡率が高い3つのがん(乳がん・子宮がん・大腸がん)に加え子宮内膜症や子宮筋腫など、女性に多い疾患を総合的にチェックできる、働く女性に、1年に1度は受けていただきたい健診です。通常、子宮や卵巣の内部まで調べることができる経膈超音波(エコー)や大腸の内視鏡検査は企業健診に含まれ

ていないことがほとんどですが罹患に気づきにくいこともあり、早期発見が非常に重要とされています。

▼詳しくはこちら

<https://www.youkenshin.jp/>

■クレンジュ東京 レディースドッククリニックとは

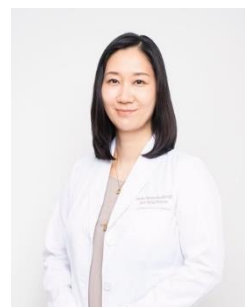
総院長の浜中聡子医師をはじめ、女性に必要な検査を提供する健診施設として各分野の専門医と連携しています。健診内容に不安を抱えている、健診施設に不便さを感じているなど、約3,000名の女性から収集したリアルな声をもとに、クリニック・サービスを開発いたしました。女性に必要な検査を総合的に行うことで、すべての女性が自身のからだに起こりうるリスクをこれまでよりも多く・正しく知ることができる健診施設の実現を目指します。

<https://www.creage.or.jp/>

浜中聡子(はまなか さとこ) 医学博士

クレンジュ東京 レディースドッククリニック 総院長

抗加齢医学に基づいたからだエイジングドック、女性の更年期障害治療、ストレスとうまく付き合うことを目的としてストレスドック等の治療を提供されています。多くの臨床経験はもちろん、海外のエイジングケアに関わる資格を取得した知識を活かし、女性のお悩みに向き合い、心身ともに健康で充実した毎日を過ごすことができるよう、医療面からサポートを行っています。懇切丁寧な診療で多くの女性から高い支持を得ています。



株式会社ファムメディコ 取締役 CVO 佐々木彩華

自分自身が月経困難症やPMSを実感したことで、『女性医療』の分野に強い興味を持ちました。その中で、ほとんどの自治体や企業健診では、子宮内膜症や子宮筋腫、卵巣嚢腫などを発見するための経腔超音波検査が補助の対象となっておらず、女性たち自身も必要性を認識していないこと、また受け入れ側の施設においても、乳がん・子宮がん検診を実施していない施設が半数近くあることに疑問を感じ、『女性の健康を本気で考えたオールインワンの人間ドックが必要』と思うようになりました。フランス語で『女性医療』を意味する私たち『ファムメディコ』は、これまでに培った医療ネットワークに加え、今後は企業人事や大学研究機関、自治体等と協力し、女性医療の課題解決を軸とした事業展開を行っていきます。



★取材はもちろん、セミナー等に登壇可能です。お気軽にお問い合わせください。

[アンファー株式会社について](#)

アンファー株式会社は、1987年に会社設立。「予防医学」をタグラインに掲げ、“いつまでも美しく、健やかに生きる」というエイジングケア・ライフスタイルの実現を目指す”トータルヘルスケア・カンパニーです。多くの医師や臨床機関・研究機関との密接なリレーションを構築しながら、「スカルプD」シリーズをはじめ、化粧品、食品等、様々なエイジングケア商品・サービスの企画・研究開発および販売を行っております。2019年4月10日より、“Dクリニックグループ”※に参画しました。

※Dクリニックグループは、「医学」を背景として、共通の目的と理念を実現するために、企業、クリニック、NPO法人団体等により発足したグループです。

【報道関係者お問合わせ先】

アンファー株式会社 PR課
TEL:03-3213-8882 FAX:03-3215-6155
Email:pr1@angfa.jp

【お客様からのお問合わせ先】

アンファー株式会社
〒100-7026 東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー26F
TEL:0120-722-002 [営業時間:午前9時~午後9時(年中無休)]